

3. まちづくりに関する住民意識

3-1 板倉町都市計画マスタープラン策定時の住民意向（平成14年）

(1) 町全域を対象とした調査結果

《町のイメージ》

- 好きなおとこ：自然の豊かさ、のどかさが上位。
- 嫌いなおとこ：交通の不便、店の少なさが上位。

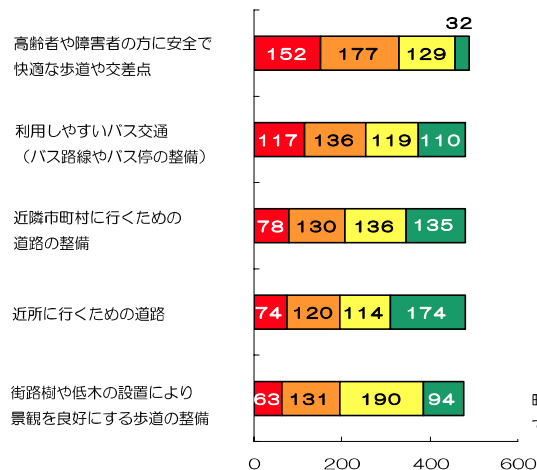
好きなおとこ		嫌いなおとこ	
意見	票数	意見	票数
・自然が豊か	115	・交通が不便	33
・落ち着いている、静か、のどか	47	・店が少ない、商店街がない	31
・田園風景が良い	23	・慣習が古い	15
・緑が多い	22	・買い物に不便	13
・住民に人情味があり暖かい	17	・道路整備が不十分	12
・自然の景観が良い	6	・まちの活気がない、魅力がない	12
・治安が良い、平和	6	・公園、図書館、体育館等がなく公共施設が不足している	12
・板倉東洋大前駅が出来て交通の利便性が向上	6	・遊ぶ場所が少ない、レジャー施設・娯楽施設が少ない	9
・田舎である	4	・病院・医療施設が少ない	8
・交通の便が良く、都内へ近い	3	・板倉ニュータウン地区の整備が充実している、板倉ニュータウン地区と他地区との違いにギャップを感じる	7
		・川が汚れている	6
		・近所のふれ合いが少ない、つきあいが良くない	5
		・働く場所が少ない	5
		・まちの変化が少ない	3

《都市施設等の整備》

- 高齢者等が安全に利用できる歩道・交差点及び利便性の高いバス交通の早期整備が求められている。
- 気軽に利用できる公園、余暇を楽しめる公園、運動公園の早期整備が求められている。

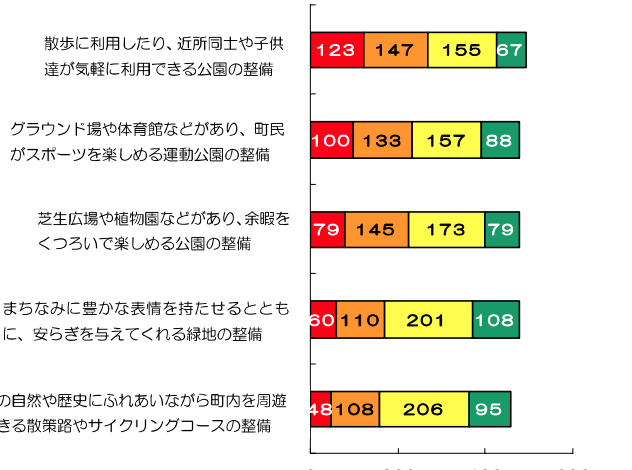
【道路・交通施設の整備】

N=2,411



【公園・緑地の整備】

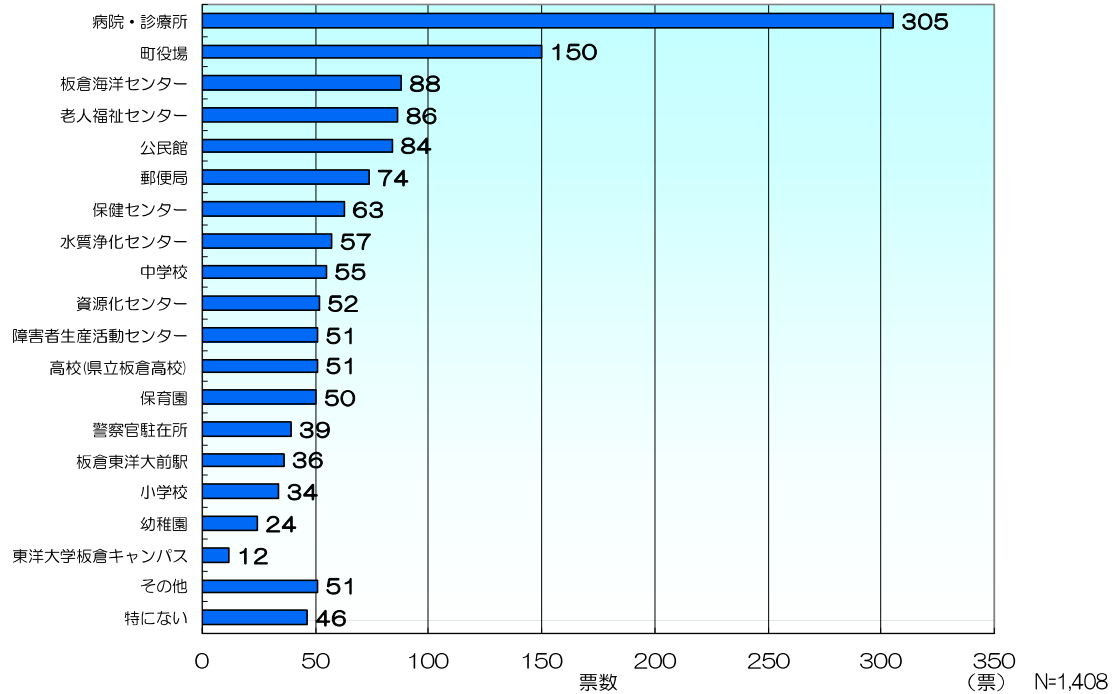
N=2,382



■ すぐにすべき ■ なるべく早く ■ いずれすべき ■ 現状のまま

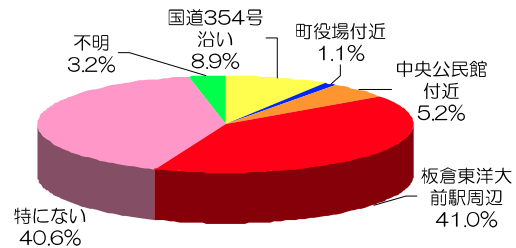
《主要な建物施設の整備》

■ 医療施設の整備・充実を望む意見が圧倒的であり、町役場の整備・充実がこれに続く。



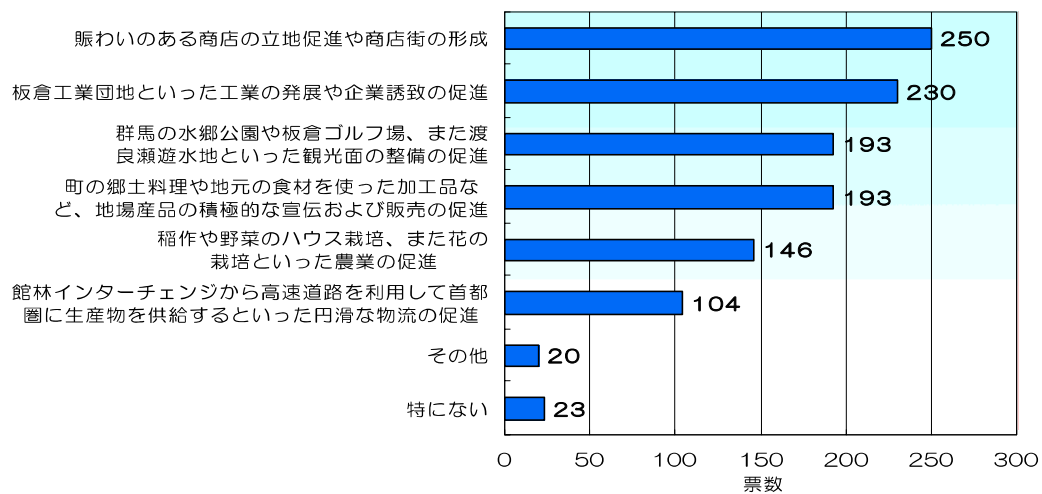
《賑わいを感じる場所》

■ 板倉東洋大前駅周辺と賑わいを感じる場所がないとする意見が拮抗。



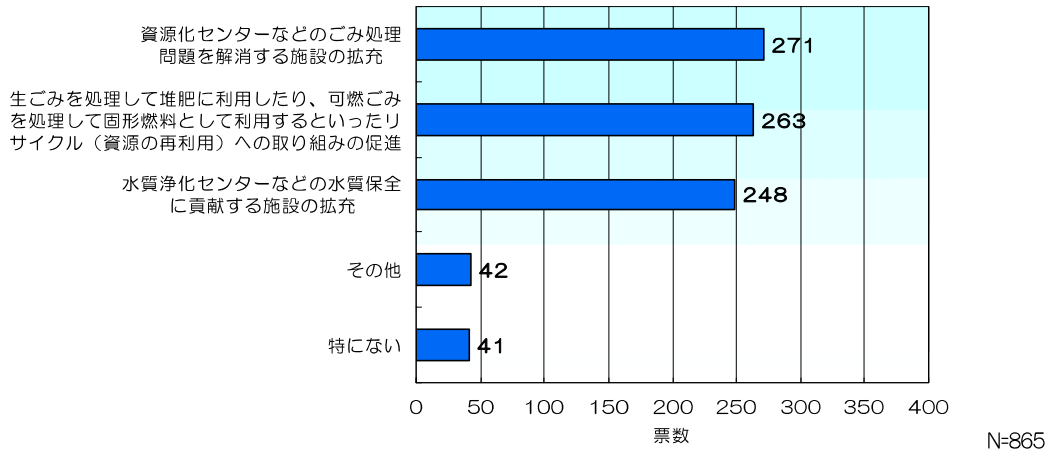
《主要な建物施設の整備》

■ 町の活性化に向け、産業全般にわたる発展が求められている。



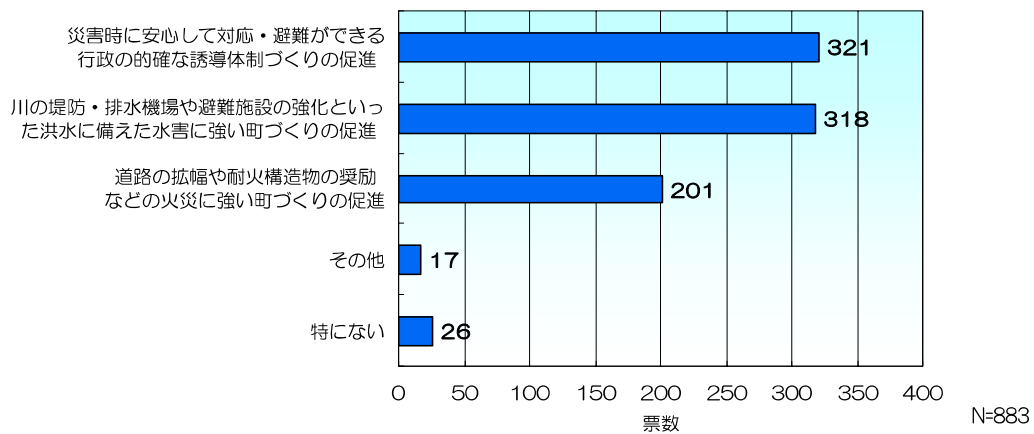
《生活環境の整備》

■ 既存施設の拡充に加え、多様な取り組みが求められている。



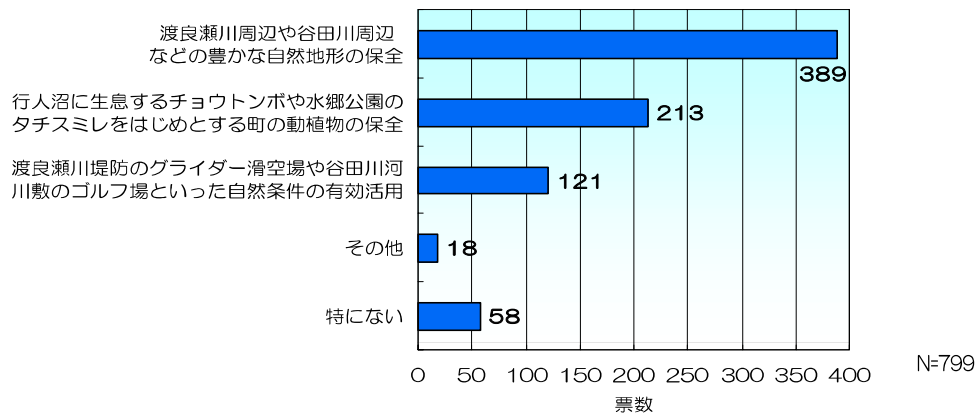
《防災》

■ 避難誘導體制の構築や水害に強いまちづくりが求められている。



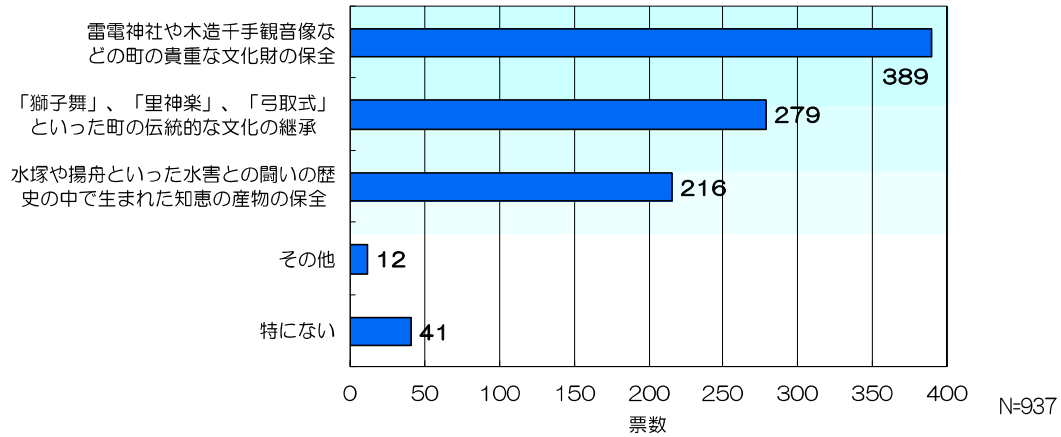
《自然環境》

■ 自然環境の利活用よりも維持・保全を求める意見が多い。



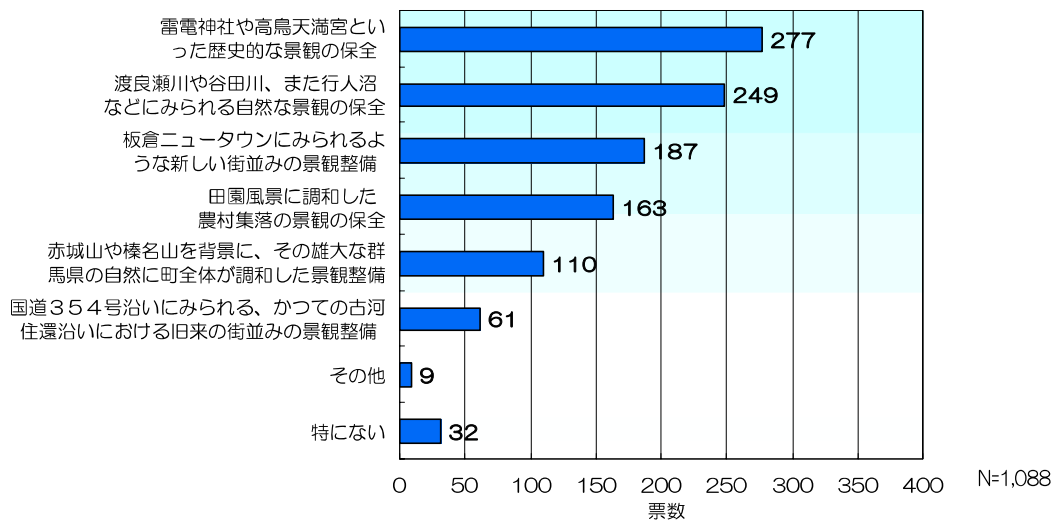
《歴史・文化遺産》

■ 貴重な文化財をはじめ、歴史・文化に対する住民の関心が強い。



《景観》

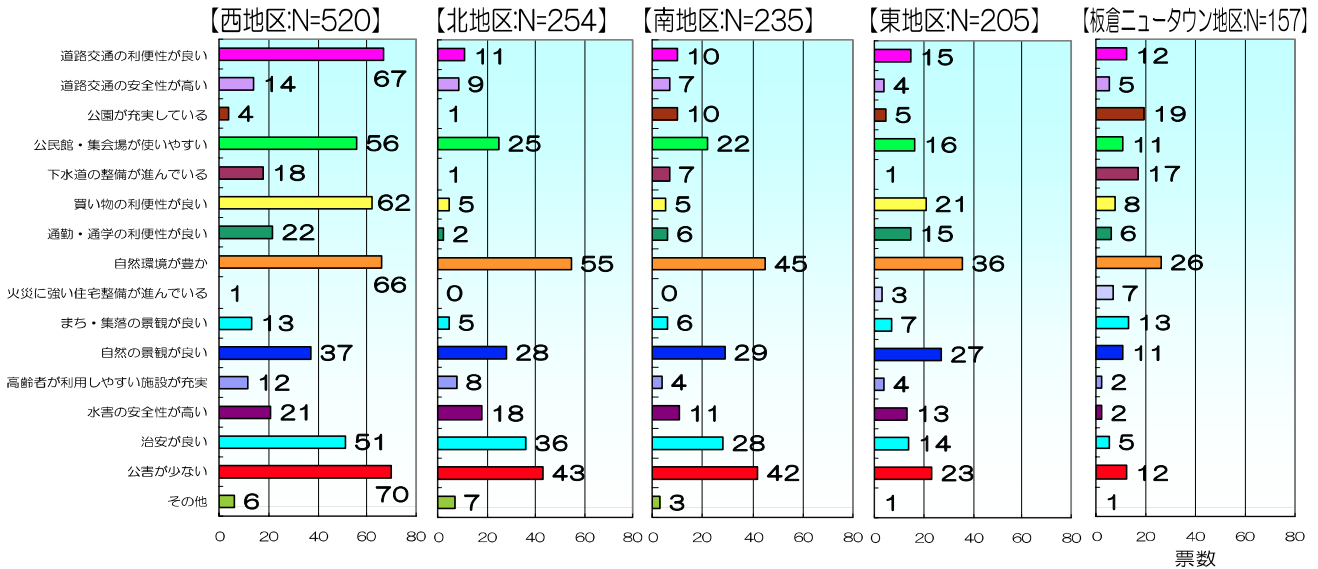
■ 多様な景観の保全・創出・調和が求められている。



(2) 居住地周辺を対象とした調査結果

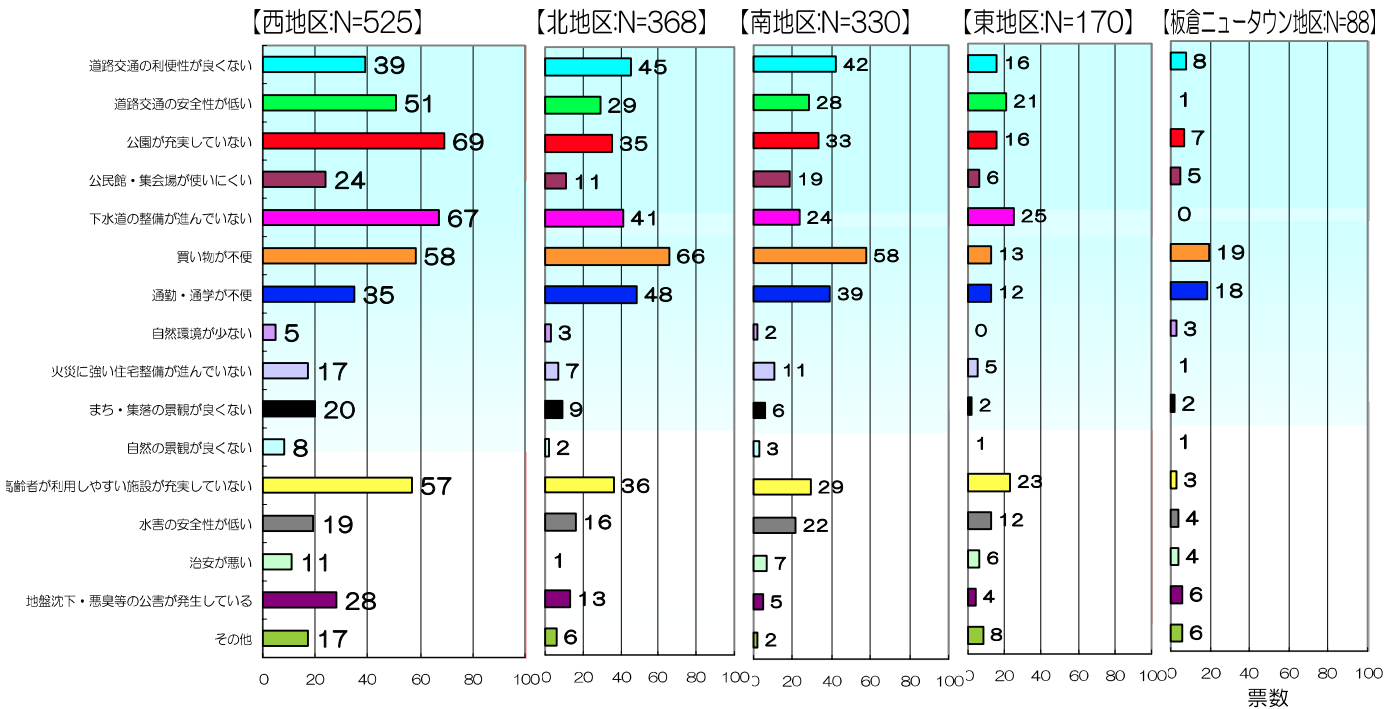
《居住地周辺の満足度》

- 自然環境が豊かであり、公害が少ないことが各地区で上位を占める。
- 道路交通の利便性が西地区で、公園の充実が板倉ニュータウン地区でそれぞれ多いが、その他の地区では低くなっている。



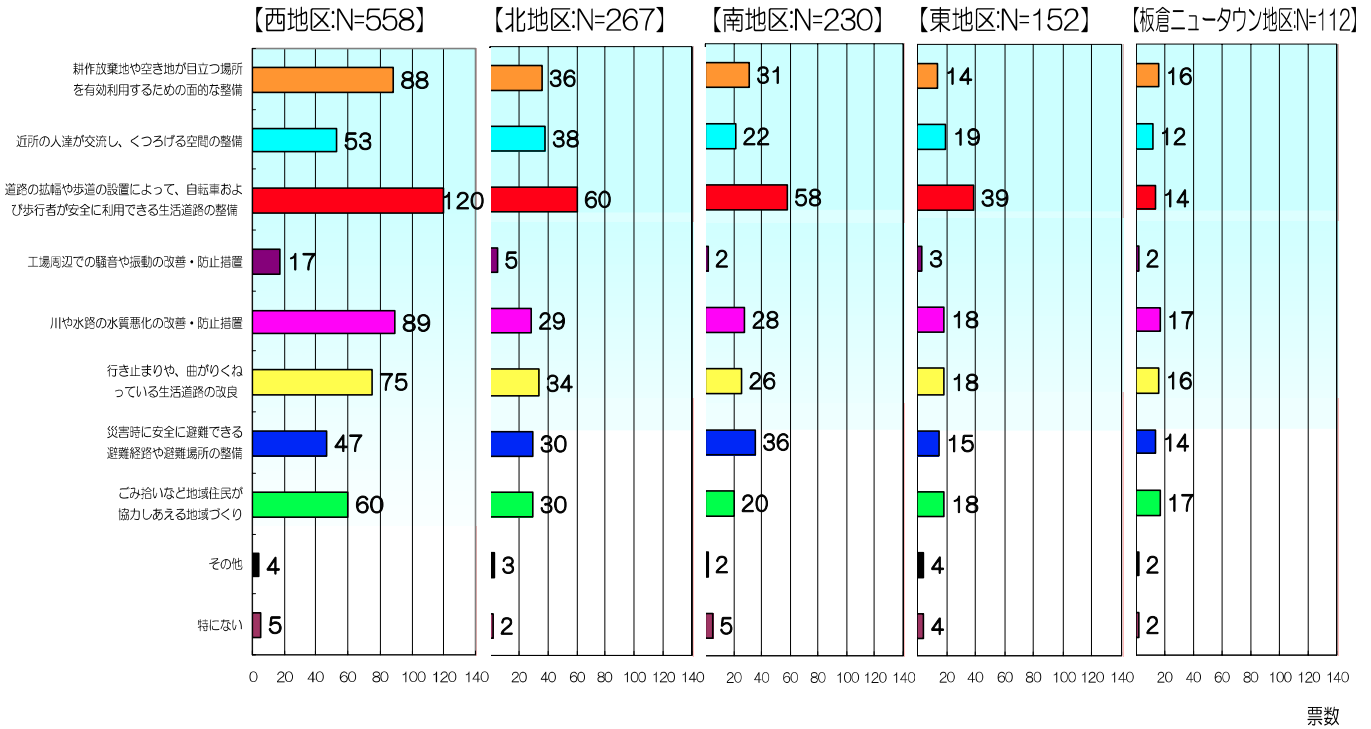
《居住地周辺の不満足度》

- 公園や下水道が充実していないことに対する不満が板倉ニュータウン地区を除く各地区で上位を占めるほか、買い物の利便性に関する不満も多い。



《生活上の身近な事項に関する重要度》

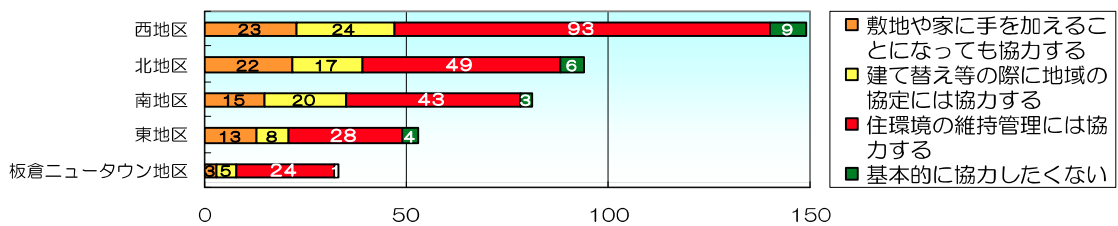
- 板倉ニュータウンを除く各地区において、生活道路の安全性の確保や河川の浄化、土地の有効利用を重要視している。
- 板倉ニュータウン地区では、生活全般の充実が望まれている。



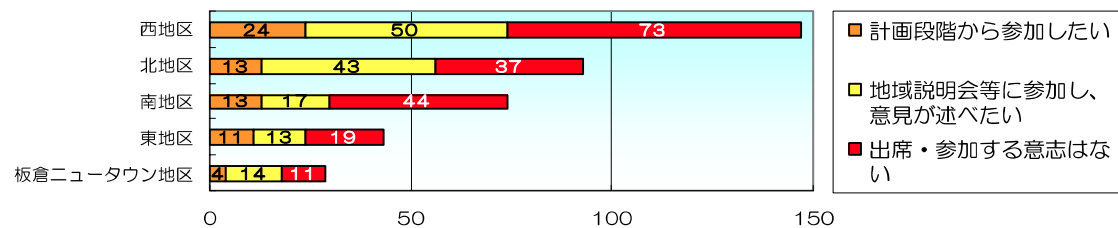
《まちづくりへの協力・参加意識》

- 各地区ともに住環境の維持管理について協力姿勢がみられるが、特に板倉ニュータウン地区で積極的であることがうかがえる。
- 都市計画マスタープランへの参加については、各地区ともに4～5割程度の参加が見込まれる。

【地域整備への協力度】



【都市計画マスタープランへの参加意識】



(3) 調査結果の総括

区分	調査項目	調査結果	
町全体を対象とした調査結果	町のイメージ	好きなところ	◆ 自然の豊かさ、のどかさ
		嫌いなところ	◆ 交通の不便、店の少なさ
	都市施設等の整備	道路・交通施設	◆ 高齢者等が安全に利用できる歩道・交差点及び利便性が高いバス交通を早期に整備
		公園・緑地	◆ 気軽に利用できる公園、余暇を楽しめる公園、運動公園を早期に整備
	主要な建物施設の整備	◆ 医療施設の整備・充実を望む意見が圧倒的で、町役場の整備・充実がこれに続く	
	生活環境の整備	◆ 既存施設の拡充に加え、多様な取り組みが求められている	
	防災	◆ 避難誘導体制の構築や水害に強いまちづくりが求められている	
	町を活性化させるための商業・産業	◆ 町の活性化に向け、産業全般にわたる発展が求められている	
	にぎわいを感じる場所	◆ 板倉東洋大前駅周辺とにぎわいを感じる場所がないとする意見が拮抗	
	自然環境	◆ 自然環境の利活用よりも維持・保全を求める意見が多い	
	歴史・文化遺産	◆ 貴重な文化財をはじめ、歴史・文化に対する住民の関心が強い	
	景観	◆ 多様な景観の保全・創出・調和が求められている	
	居住地周辺を対象とした調査結果	居住地周辺の満足度	プラス評価
マイナス評価			◆ 公園や下水道が充実していないことに対する不満が板倉ニュータウンを除く各地区で上位を占める他、買い物の利便性に関する不満も多い
生活上の身近な事項に関する重要度		◆ 板倉ニュータウン地区を除く各地区において、生活道路の安全性の確保や河川の浄化、土地利用の有効利用が重要視されている ◆ 板倉ニュータウン地区では、生活全般にわたる充実が望まれている	
まちづくりへの協力・参加意識			◆ 各地区ともに、住環境の維持・管理については協力姿勢がみられるが、特に板倉ニュータウン地区で積極的であることがうかがえる
			◆ 都市計画マスタープランへの参加については、各地区ともに4～5割程度の参加が見込まれる

3-2 第1次板倉町中期事業推進計画策定時における住民意向（平成22年）

平成22年に実施した町民意識調査における「今後、板倉町はどのような方向の町を目指すべきだと考えますか？」との問では、「産業を盛んにし、安定した職場があるまち」（19.9%）との回答が多く、次いで「教育や子育て環境が充実したまち」（16.6%）、「便利で生活しやすい住環境の整ったまち」（16.0%）、「高齢者や障害者にやさしく、みんなが健康に暮らせるまち」（15.6%）、「防犯・防災・救急体制などが充実した、安全・安心なまち」（13.2%）、「自然環境を大切に自然豊かなまち」（11.6%）となっています。

【町民意識調査：今後、板倉町はどのような方向の町を目指すべきだと考えますか？】

	男	女	性別未記入	合計	構成比
1. 都会的な市街地に整備されたまち	198	74	4	276	2.7
2. 産業を盛んにし、安定した職場があるまち	1,391	609	24	2,024	19.9
3. 自然環境を大切に自然豊かなまち	791	370	20	1,181	11.6
4. 教育や子育て環境が充実したまち	1,082	579	20	1,681	16.6
5. スポーツや文化・芸術活動など生涯学習が盛んなまち	173	90	1	264	2.6
6. 美術館などが整った芸術・文化のまち	47	30	3	80	0.8
7. 高齢者や障害者にやさしく、みんなが健康に暮らせるまち	1,038	518	29	1,585	15.6
8. 防犯・防災・救急体制などが充実した、安全・安心なまち	910	415	12	1,337	13.2
9. 高度な情報通信網が整備されたまち	77	23	2	102	1.0
10. 便利で生活しやすい住環境の整ったまち	1,031	568	25	1,624	16.0
合計	6,738	3,276	140	10,154	100.0

